



# なでしこ

『大宮中精神:優しさをもって、夢や目標に向かって、挑戦する若者であれ!』

## 5/8 (月) 朝礼校長講話 『授業で集中! 最初に覚える時が勝負』の話 ～先生の余談も意外な価値がある～

今朝は授業の集中力の話題です。毎日 5、6 時間ある授業。実技教科のように身体を動かす授業もありますが、教室で座っている時間に、毎時間全集中は続いていますか? 集中力が途切れたり、気を失ったり、黒板を写し損ねると、思わぬ勘違いがあります。これは庭野先生に聞いた話です。「地理で習う『たいへいよう』と『たいせいよう』。どちらに点が付きますか?」と、中学生時代に先生に質問されて自信满满で黒板に書いたら、小学校時代に全く逆に覚えていて大撃沈したそうです。その話を聞いて、私は自分の経験を思い出しました。中学一年の時に島津先生という社会の先生は「面積は太平洋の方が大西洋よりかなり大きいんだ。だから間違えやすい。いいか、覚え方はハワイ島がある方が『、』のある太平洋。大西洋はハワイが無いから『、』は無いと覚えるんだ」と教わった瞬間から、私もよく間違えていた悩みが解決しました。最初が肝心ということです。

漢字にも最初に間違えて覚える例があります。蛭沢先生は、小学校で覚えた『南』という字の中を『半』だと信じ込んでいて、大学生の時(ん?何か違う?)とハッとした経験があるそうです。私も似たような間違いがありました。入場券などの『券』という漢字の中を『力』と覚えていて、大学時代に本を読んでいて、(それは『力』ではなく『刀』です)という文章にぶち当たり、(まじか?)と辞書で調べた経験があります。皆さんにも、(あれ?)と思う瞬間ありませんか?漢字で言えば、よくある例で『成績』の『績』を『積』とか、『完璧』の『壁』を『璧』とか、『大団円』を『大円団』とか・・・



紫帆

授業の先生方の余談も意外に馬鹿にできません。昔々半世紀前に、私は朝礼で当時の松永校長先生から、「『挨拶』という漢字を書けますか?」と言われた記憶があります。結構ごちゃごちゃして面倒くさい漢字です。しかもどっちが前だっけと混乱しやすいから、当時は『あいさつ』とひらがなで書いていました。松永校長は「『挨拶』という漢字は、手へんにムヤクタ(つまりム、矢、くが三つ、夕)と覚えるんだよ。私も昔そう教わりました」と話してくれました。当時の校長先生の話は、これ以外何も覚えていないのですが、それ以来『あいさつ』は『挨拶』と迷いなく書けるようになりました。

今朝の本題に戻ってまとめます。漢字に限りませんが、人は最初に勘違いして覚えてしまうと、なかなか間違いに気付かないものです。テスト勉強で繰り返し覚えることも大切ですが、下手をすると大間違いを何度もすり込むことになりかねません。やはり毎日の授業で新しい事を覚える瞬間が勝負です。シンプルですが『毎日の授業が大切』です。皆さんに『完璧』な集中力が身につく『成績』が上がることを願っています。😊

## 授業ぶらっと訪問②⑥

5/15 (月) ②瀧本先生 1C 美術

チャイムと共に、気持ちの良い挨拶をして授業が始まります。四月から新規採用で大宮中に赴任したニューカマーの紹介です。美術は田口先生から瀧本先生に替わりました。どんな授業なのか參觀してきました。

本時は『そっくりをつくろう!』という5回で実施する彫塑領域の授業です。食べ物の実物を家庭から持参して、特殊な粘土で制作するようです。瀧本先生は生徒に「そっくりに美味しそう!をつくろう」と強調しながら説明を進めます。まず、大まかな形をつくるためにどのようなことに気をつけるかを生徒の意見を聴き取っています。粘土で制作する際には、色や形、表面の質感を表現することが大事だと気付かせます。制作した見本の



作品をいくつか回して、実際に手に取って観察させていました。瀧本先生の説明の後、粘土を配ります。生徒は実物を手に取ると、一年生の授業らしく和気あいあいと賑やかです。家庭から実物を持ってくるのを忘れた生徒が二名いました。どうするかなと見ていると、先生が前に呼んで自前で用意したものか、ピーマンを渡していました。生徒は各自で白い粘土を取り出して粘土を捏ねだします。巡回してみると、バナナ、パプリカ、サツマイモ、オレンジ、ニンジンやお菓子、ポッキー、コアラのマーチ、ビスケット等様々な題材を持ち寄っています。瀧本先生は生徒を巡回して針金の必要な生徒に配りながら、あれこれ助言しています。生徒はブツブツ言いながら、粘土を形づくろうと奮闘していました。粘土はジップロックの袋

を配って、保存して乾燥を防ぎます。途中で、粘土が硬いと感じる人は、水をつけて柔らかくしたり、ツルリとした表面にできることを説明していました。袋から出した粘土は一週間で相当硬化するようで、みんな形づくりは今日が勝負だよ、と発破をかけていました。大体の形ができた生徒は、



ヘラを使って細かい表現をしていきます。時間が来て、瀧本先生が「そろそろ終わります」と言うと、「え、早すぎます」と悲鳴も上がります。「ジップロックの袋は空気を出来るだけ抜いて」と片付け方法を聞いて、生徒は各自で店じまいをしていました。次回以降、表面処理や色付け等どうやって本物に近づけていくか楽しみです。新米先生(瀧本先生は米どころ新潟出身です)、とても頑張っていました!

5/17 (水) ①池田先生 3B 社会

歴史の授業です。池田先生も今年度赴任したニューカマーです。社会科の授業の経験も豊富で新しい風を入れてくれることを期待して參觀しました。まずプリントを配布します。No.15 とあるので、四月から急ピッチで進めている様子です。

本時は第一次世界大戦が終わって平和な世の中が訪れた一方で、様々な課題が世界を襲う様を学んでいくようです。池田先生が黒板にポイントを板書しながら、必要な知識を生徒に時折質問をはさみながら押さえていました。戦後のアメリカの不景気から失業者があふれて、世界中の経済に大打撃を与える大恐慌の様子を、池田先生が実際に見てきたように話します。生徒はプリントに板書をまとめます。次に個別学習になります。どのようにして英仏、米国、ソ連が大恐慌を乗り越えたかを、資料集やタブレットを使って調べる時間と

なります。生徒は調べたことをプリントにまとめています。5分ほどで池田先生が説明に入ります。英仏の植民地を利用したブロック経済、米国のニューディール政策による失業者の救済、ソ連は五か年計画で工業化と豊富な資源を活用した自給体制を築くと整理していきます。その後、個々に自分が大統領ならどの政策を取るかを考えて、班になって議論する時間となります。生徒の人気はニューディール政策の様子です。それぞれの生徒が選択した理由も説明していました。内容が経済政策ですから、生徒の知識が豊富とは言えないため、活発な議論にはなりにくい様子も見られました。今後公民で経済について学んでいくと新しい視点が生まれるのでしょうか。最後に各班の代表が、班ごとに選んだ経済政策とその理由も発表していました。ニューディール4、ブロック1、計画経済



1という結果でした。難しい内容の授業で、生徒が多く経済、株式、金融政策を理解するのは後半の公民の授業まで待たなければなりません。今日学んだことは、その時にそうだったのかと、深く理解できる日が来るのでしょうか。

#### 5月23日(火) 浅倉先生 ①G組 保体

体育館に行くと、チャイムが鳴ってからしばらくして集合しました。運動会練習期間となっており、保体の授業も運動会練習が始まっています。今日は生憎の雨のため体育館での授業となります。ニューカマーの浅倉先生の担当の授業です。T2、T3に神戸、美田先生が付いています。まず整列して浅倉先生が流れを説明しています。出場競技の並び順の確認をおこなうようです。ラジオ体操とランニングから入ります。リーダーの生徒が一人で前で全員と対面しています。ラジオ体操が始ま



りました。浅倉先生が「指先伸ばして！」等ポイントを声掛けしています。膝などの補強運動をリーダーの声掛けで全員元気に声を出しながら行っています。とても良い雰囲気です。終わると水分補給です。ノリノリの曲を流して一曲の間ランニングをします。全員、軽快に走っています。見ているうちに私も一緒に身体を動かしたくなって、体操とランニングを一緒にやっちゃいました。実は私コロナ禍で中断していた来月某所の10kmロードレースにエントリーしているため、最近家でも走っています。G組の生徒も生涯に渡りスポーツに親しむ気持ちを、保体の授業で育みたいものです。走り終わってから集合して走る種目の走順を確認します。それぞれ走順とレーンを覚えようとしていました。浅倉先生は笑顔を絶やさず優しい声で、生徒に丁寧に説明をしています。保健体育のバスケットボールが専門で、身長は185cmはあり、生徒からは見上げるようなお髭を生やした浅倉先生ですが、既にG組の生徒は馴染んでいる様子です。その後、リレーのバトンを渡す順番を並んで確認していました。授業の後半はバケットリレーの練習をします。四人でボールを乗せた毛布の端を持って運びます。途中でコーンの回りを回転したり、ボールを投げ上げたり、紐の下をくぐったりしながら進んでいってゴールする競技のようです。色々な動きの中で、毛布からボールを落とさずに素早く運ぶことが求められる競技です。四人チームで練習を始めました。ボールを投げ上げる場面は、四人の動きを揃える難しさがあります。なかなか上手くいきませんが、全員で熱心に練習していました。本番までにどれくらい上達しているか楽しみです。最後は、全員でキビキビ片付けをして終了しました。

## G組校外学習 高尾山ハイク

コロナ禍も一段落した環境で、四年ぶりに永福町から電車で高尾山に班行動で行ってきました。登山道一号路を使うため、G組ではこの日のために、階段上り下りで脚力の強化を図ってきました。当日は晴れ時々曇りという天候でした。駅に集合した時から、生徒はうきうきしています。高尾山口からの登りは、



一列になって登山口から歩きました。休みながら一時間半ほどで山頂に着いた時には、生徒は「やった～。着いた～」と満足そうです。持参したお弁当を美味そうに食べて、記念撮影をしている間に、段々雲行きが怪しくなってきました。山頂にはたくさんの団体がいましたが、我々は下山を急ぎ、下りは一時間ほどで降りました。登山口に着いたところでポツポツ降り始め、帰りの電車では外は本降り、明大前を通過した時は雷鳴が響く状況となり、現地で降られなくて良かったと、皆で胸をなでおろしました。

## フレンドシップ スクール(1年)

今年度から大宮中学校のフレンドシップスクールは八ヶ岳方面一泊二日で実施しました。実行委員会が考えたスローガンは、『絆定食～笑顔ましまし、友情を添えて～』でした。二日間食欲もりもり、笑顔にあふれて友情を深めたいという生徒の希望を感じました。

一日目、当日は快晴。大宮小前からバス三台で一路八ヶ岳に向かいます。バスの中では生徒の表情はキラキラ輝き、会話のトーンも高めでした。昼前に宿舎に到着します。予想以上に立派な宿舎で、生徒からも「お～、き

れい」と歓声が上がっていました。持参した弁当を食べて、午後はチームビルディングでした。2名のファシリテーターの進行で、6チームに分かれて、様々なワークをしました。最初の1時間はアイスブレイクタイム、後半1時間はチームで課題を競い合いました。丸く輪になって、手を繋いでの人間知恵の輪、フラフープ渡し等、めちゃくちゃ盛り上がりました。全員で協力して、知恵を出し合って、課題をクリアすることで、自然に仲が深まっていく仕掛けです。一年の教員も一緒になって取り組んでいる様子を見ていて、(自分も中学時代にこんなことをやりたかったな)と思いました。終了後は入浴と買い物時間で、18時から夕食でご馳走に舌鼓を打ちました。私のフレンドシップスクール史上最高のお味でした。夜はレク担当の考えたレクリエーション大会でした。生徒はノリノリで盛り上がり、親交を深めていました。



二日目は6時起床。室内で朝の会でした。ラジオ体操で目を覚ましてから、いざ朝食。これが美味しいのなんの、和食、洋食のビュッフェ形式でした。学校では給食で残菜が多めだったので心配していましたが、これからはたくさん食べて、たくましく成長してくれそうです。その後宿舎を離れ、一路滝沢牧場へ。牛の乳搾り、子牛の心音を聴く、乗馬、家畜に餌やりをして、最後に朝搾り牛乳で作ったソフトクリームを食べました。心配した雨は弱く降ったり止んだり、幸い問題なく学習できました。1300メートルの高地だけあり肌寒く、気温は13度でした。昼には温かいほうとうをいただき、帰りの中央道は雨の中、無事に帰還できました。